

報道関係各位

ふるさと回帰支援センター移住希望地域ランキング 2019 広島県が初の第2位!!

認定NPO法人ふるさと回帰支援センターが発表した「移住希望地域ランキング 2019」において、広島県が初めて、全国第2位となりました。

このランキングは、東京圏の地方移住希望者と全国の地方自治体のマッチングを行う、東京・有楽町の同センターが、来場者を対象に、地方移住に関して実施したアンケート結果に基づき毎年発表しているものです。

同ランキングにおいて、広島県は、2013年までの圏外（21位以下）から、相談ブースを設置した2014年には18位になり、2015年は6位、2016、2017年は4位、2018年は6位と上位を維持してきましたが、今回2019年は過去最高順位の2位となりました。

また、本県は、年代別に見ても、20代以下の移住希望地として1位、同センターを最も利用している30代、40代でも2位となるなど、移住先としての認知度が向上しています。

■ 相談者数、移住世帯数が年々増加中

2019年は、年々変化する移住相談者の相談傾向や希望に応じて、情報発信内容を工夫するなどした結果、東京相談窓口の相談件数や移住世帯数が2018年の実績を超えるペースで着実に増加し、移住イベントの集客数も大幅に増加しました。



東京相談窓口での相談風景



移住セミナーの様子（2019.5.11 因島フェス）

【新規相談者数の推移】

区分	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度 (1月末現在)
新規相談者数	490組	541組	718組	865組	1,005組	1,155組

■ AI技術を活用した移住相談システムの試験運用開始

いつでもどこからでも相談できる、東京相談窓口のノウハウを生かしたAI移住相談サービスの試験運用を、2019年11月に開始しました。

今後は、来年度の本格運用に向けた精度向上を図り、潜在層を含めた移住希望者を、スムーズに移住相談窓口、企業、地域のキーパーソンといった受け皿につなげることなどにより、本県への移住者の更なる増加を図っていきます。

